

外部評価結果報告書

2021（令和3）年 7月

目次

1. はじめに	1
伊賀市総合計画審議会委員	1
2. 評価の実施手法	2
（1）評価対象	2
（2）評価の流れ	2
（3）評価のスケジュール	2
3. 外部評価の実施	3
（1）外部評価の視点	3
（2）外部評価シートの様式	3
4. 外部評価結果	4
分野1. 健康・福祉	4
分野2. 生活・環境	6
分野3. 産業・交流	8
分野4. 生活基盤	10
分野5. 教育・人権	12
分野6. 文化・地域づくり	14
分野7. 計画の推進	16
5. おわりに	18

1. はじめに

伊賀市では、2017（平成29）年6月に「第2次伊賀市総合計画 第2次再生計画」を策定している。ここでは、2017（平成29）年度から2020（令和2）年度までの4年間で取り組む、まちづくりの政策に基づく根幹的な施策や事業を定めており、昨年度までその達成に向けて鋭意取り組みを進めてきた。

この再生計画は政策・施策をマネジメントする計画と位置づけ、「ムダのない財政運営」と「市民目線・市民感覚による市政」を基軸として、市民、自治組織、市民活動団体、企業、行政などのあらゆる主体が連携・協力して、分権型のまちづくりを推進するとともに、簡素で効率の良いマネジメントサイクルによる進行管理をすることとしている。

当審議会は、伊賀市総合計画審議会条例第2条にあるように「総合計画の進行管理に関する事」「総合計画の評価に関する事」などを所掌事務としており、この度、2021（令和3）年6月29日に市長から諮問を受け、2020（令和2）年度に実施した施策を対象に検証・評価を行った。

検証・評価結果の詳細については、後記のとおりである。

当審議会の答申を通じて、伊賀市の行政運営の向上が図られ、「第2次伊賀市総合計画 第3次基本計画」（2021（令和3）年度から2024（令和6）年度）の取り組みが、着実に実施されることを願うものである。

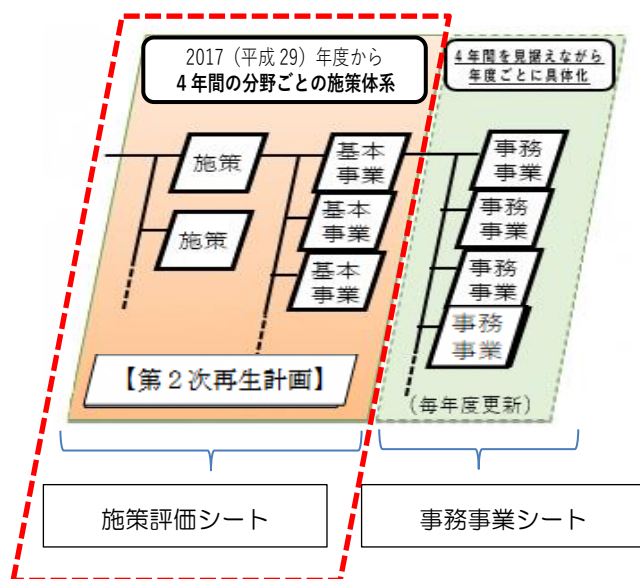
伊賀市総合計画審議会 委員

会長	岩崎 恭彦	3号委員（三重大学人文学部）
副会長	加納 圭子	1号委員（教育行政評価委員会）
委員	乾 光哉	1号委員（社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会）
	森野 廣榮	1号委員（伊賀市環境保全市民会議）
	小坂 元治	1号委員（一般社団法人伊賀上野観光協会）
	藤巻 恵	1号委員（伊賀市地域公共交通活性化再生協議会）
	服部 保之	1号委員（公益財団法人伊賀市文化都市協会）
	松山 隆治	5号委員
	澤野 政子	5号委員
	大北 薫	5号委員
	有馬 幸司	5号委員
	町野 真由美	5号委員
	西口 真由	5号委員

2. 評価の実施手法

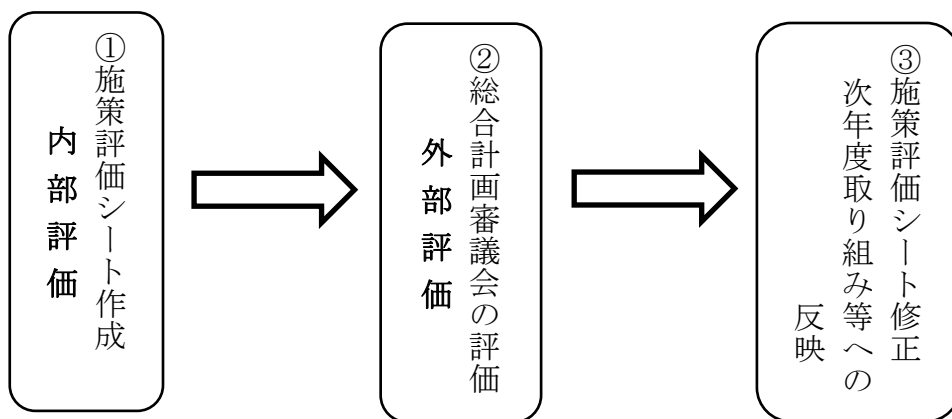
(1) 評価対象

第2次伊賀市総合計画第2次再生計画（2017（平成29）年度～2020（令和2）年度）に位置付けられた全47施策および各施策に紐づく基本事業。



(2) 評価の流れ

- ①各施策担当部局による自己評価（施策評価シートの作成）
- ②総合計画審議会による評価（外部評価シートによる評価）
- ③外部評価を踏まえ、施策評価シートの修正、次年度取り組み等への反映



(3) 評価スケジュール

2021（令和3）年4月～5月頃	内部評価 （各部局において施策評価シートの作成）
2021（令和3）年6月29日	外部評価諮問、外部評価手法検討 （第13回伊賀市総合計画審議会） ※事前質問の受付と回答
2021（令和3）年7月21日	外部評価 （第14回伊賀市総合計画審議会）
2021（令和3）年7月30日	外部評価答申

3. 外部評価の実施

(1) 外部評価の視点

総合計画審議会による外部評価は、以下の3つの視点（A、B、C）により評価を行う。

A 成果指標

達成度の確認・・・絶対評価

B 2020（令和2）年度まちづくりアンケート調査結果（相関図）

満足度及び参画度の確認・・・相対評価

C まちづくりアンケート調査結果の推移

上記の結果に対して、各部局の分析が適切になされているかについて、外部評価を行う。

(2) 外部評価シートの様式

外部評価シートの項目	内容																		
施策キーワード	施策の見出しと各施策が協働のもとでめざす姿（状態）																		
A 成果指標																			
成果を示す指標（KPI）	施策が達成された状態を表す指標。																		
進展度	指標の達成状況。達成状況により、「◎」「○」「△」「×」で判定。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">進展度</th> <th>目標達成状況により算出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎</td> <td>進んだ</td> <td>100%以上</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ある程度進んだ</td> <td>85%以上100%未満</td> </tr> <tr> <td>△</td> <td>あまり進まなかった</td> <td>70%以上85%未満</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>進まなかった</td> <td>70%未満</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>不明</td> <td>（令和2年度目標値または実績値なし）</td> </tr> </tbody> </table>	進展度		目標達成状況により算出	◎	進んだ	100%以上	○	ある程度進んだ	85%以上100%未満	△	あまり進まなかった	70%以上85%未満	×	進まなかった	70%未満	—	不明	（令和2年度目標値または実績値なし）
進展度		目標達成状況により算出																	
◎	進んだ	100%以上																	
○	ある程度進んだ	85%以上100%未満																	
△	あまり進まなかった	70%以上85%未満																	
×	進まなかった	70%未満																	
—	不明	（令和2年度目標値または実績値なし）																	
B まちづくりアンケート調査結果（相関図）	2020（R2）年度まちづくりアンケート結果による満足度と参画度の相関図。グラフの右上ほど満足度、参画度がともに高く、左下ほど満足度、参画度の低い施策であることを示す。																		
C まちづくりアンケート調査結果の推移	まちづくりアンケート結果の2017（H29）年度から2020（R2）年度までの推移。																		
4年間の上昇率（R2-H29）	まちづくりアンケート調査結果の2017（H29）年度から2020（R2）年度の満足度、参画度の上昇率。																		
分析（要因・課題等）	成果指標の達成状況、まちづくりアンケート結果を踏まえ、各部局においてその要因、課題を分析（内部評価）したもの。																		